

第62回 入学式

～ 新入生62名の高校生活が華々しくスタートしました ～



4月10日(月)、第62回入学式を挙行し、地域科学科37名、商業科25名、計62名の新入生(62回生)が晴れて松高生の仲間入りを果たしました。

3年ぶりに在校生も参列して行われた本年度の入学式では、まず1学年各クラス担任による新入生全員の呼名が行われ、その後舟越裕校長が62回生の入学を許可し、新入生代表の阿部優亜さん(地域科学科 志佐中学校出身)が「松高生としての自覚を持ち、校則を守り、学業に精励し、立派な校風を創るよう努力することを誓います」と宣誓しました。さらに、生徒会長の望月淳ノ介さん(普通科3年 志佐中学校出身)が新入生に向けて、「松浦高校には、自分を磨くチャンスがたくさんあります。これから一緒に頑張りましょう」と歓迎の言葉を述べ、最後に新入生を代表して伊藤ひなさん(商業科 志佐中学校出身)が入学にあたっての挨拶をしました(挨拶の詳細は下記の通りです)。

62回生は皆、緊張の中にも凛とした態度で入学式に臨み、これから始まる高校生活への期待を膨らませているようでした。参列した在校生も真剣な眼差しで62回生の晴れ姿を目に焼き付け、新入生の入学を祝福しました。厳粛な雰囲気の中、入学式は滞りなく行われ、62回生の今後の活躍を予感させる素晴らしい式となりました。



▲新入生代表宣誓 阿部優亜さん

新入生代表挨拶

～「松浦高校、そして地元松浦に貢献できるよう、学びをすすめます」～



私たちは、これから始まる高校生活を前に、不安もありますが、同時に期待で胸がいっぱいです。先輩方の姿を手本に、充実した高校生活を送りたいと思います。そのために、勉強と部活動を両立し、松高生らしい、さわやかな挨拶と身なりを大切にし、行事や生徒会活動、地域と連携した活動に積極的に取り組み、松浦高校、そして地元松浦に貢献できるよう、学びをすすめます。松高生としての誇りを持ち、充実した毎日を送ることを誓います。

(新入生代表 志佐中学校出身 伊藤ひなさん)

新入生研修

～ 3日間の研修を通して、新入生(62回生)は「真の松高生」となりました ～

4月12日(水)から14日(金)までの3日間、新入生研修を行いました。新入生(62回生)は、「真の松高生」となるために、集団行動や校歌指導、校長・生徒指導主事講話、礼法指導などの研修に真剣に取り組みました。吉岡玲奈さん(調川中学校出身)は「校長先生が仰った『チャレンジがキーワード』という言葉が心に残りました。これからは初心を忘れず、この研修期間の緊張感を忘れずに、少しずつ成長していきたい」と研修の感想を語りました。



対面式 & 歓迎遠足

～ 松高生一同、楽しい一日を過ごし、互いに親睦を深めました ～

4月21日（金）、対面式と歓迎遠足を開催しました。まず体育館で対面式を行い、在校生代表の西田葵さん（3年 調川中学校出身）による歓迎の言葉に引き続き、新入生代表の竹田隼さん（平戸中学校出身）が「新入生一同、歓迎遠足を楽しみにしていました。今日の遠足を通して、先輩方と仲良くなれたらいいなと思います。僕たち新入生にたくさん話しかけてください」と挨拶しました。そして最後に吹奏楽部が歓迎演奏を披露して、対面式を締めくくりました。



その後、生徒たちは海のふるさと館隣の芝生広場まで移動し、生徒会主催のレクリエーションやフォークダンスなどで楽しいひと時を過ごしました。午後には体育祭（9/3開催予定）のブロック割が発表され、各ブロック長を中心に結団式を行いました。ブロック長やフェスタ長が挨拶の中で自分たちのブロックの目標などを熱く語り、全員で円陣を組んで大きな声で気合を入れるなど、大いに盛り上がりました。松高生一同が互いに親睦を深め、松高生としての絆を固めた一日となりました。

5月のおもな行事

注) ①は1年、②は2年、③は3年

8日（月）	振替休日（5/13分）	18日（木）	高総体前短縮授業（～5/26）
9日（火）	①心電図検査、考査時間割発表、職員室入室禁止	19日（金）	②歯科検診
10日（水）	検尿（1次 ～5/11）、③内科検診	22日（月）	③歯科検診
13日（土）	P T A総会	24日（水）	②内科検診
16日（火）	第1回定期考査（～5/17） 高総体組み合わせ抽選	検尿（2次）（～5/25）	第2回選挙管理委員会
17日（水）	熱中症予防講座、第1回選挙管理委員会 ③卒業アルバム用個人写真撮影	26日（金）	第1回実用英検（1次） 高総体行進練習
	①データ研修会	29日（月）	振替休日（6/3分）
		30日（火）	①眼科検診、高総体行進練習

「多士済済の集団」

校長 舟越 裕

62名の新入生、10名の新転任者の教職員を迎え入れ、令和5年度がスタートしました。フレッシュでやる気に溢れた顔を見ていると、私自身も気が引き締まる思いです。

本校の教職員と話をしていると、教職員の様々な一面を知ることができます。教職員になる前に他の職業に就いていたり、学校以外の場で活躍していたり、長年の趣味をもっていたりと本当に様々です。こうした多様性は、人間に幅を持たせることになり、当然、教育活動の中にも生きてきます。また、3月には「まつうら高校応援団」の発足会を開催し、松浦市内の事業所がお持ちの多様な専門性を本校の教育活動の充実にお力添えをいただけるよう、ご協力をお願いしたところです。

急激な社会変化の中で、「多様性（diversity）」は現在の学習指導要領で、次のように触れられています。

「急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。」

松浦高校は、こうした力を結集して生徒一人一人の良さをしっかり伸ばし、社会に出て新たな価値を生み出すことができるような力を身に付けさせる教育を展開していきます。今年度も、よろしくお願いたします。



松高
YouTube



松高
ホームページ



松高
Instagram

